

所内検討会⑤（研究報告内容）

研究の方向性や内容が課題を解決するために妥当であるかを検討することをねらいとして開催される所内検討会。第5回所内検討会を3月15日(火)に実施し、(1)研究報告書の内容を、簡潔にわかりやすく発表することができるか。(2)プレゼンテーションの資料は、簡潔にまとめられ、わかりやすくなっているか。の2つの視点に基づいて、研究報告内容(プレゼンテーション)についての検討を行いました。後期教育研究員の所内検討は、これで全5回を終了し、いよいよ、3月25日の報告会を迎えることとなります。

【所内検討会の日程】

- 1 開会のことば(司会)
- 2 日程の確認
- 3 各研究員の「研究報告内容(プレゼンテーション)」についての発表

	時刻	研究員	研究領域及び研究テーマ
1	9:35 ～ 10:10	比嘉頼子 長嶺小学校	〈小学校 道徳〉 児童が主体的に取り組み、自らの考えを深める道徳授業作り ～心に響く教材の開発・活用と意見交流の場の設定を通して～
2	10:15 ～ 10:50	久高友弥 与那原東小学校	〈小学校 国語〉 自分の考えを広げたり、深めたりする学習指導の工夫 ～「読むこと」における単元を貫く言語活動を通して～
3	10:55 ～ 11:30	富名腰由紀 東風平小学校	〈小学校 算数〉 数学的な思考力・表現力をはぐくむ指導の工夫 ～互いの考えを伝え合う協働的な学習活動を通して～
4	11:35 ～ 12:10	国吉亜矢 北丘幼稚園	〈幼稚園教育〉 幼児が協同して遊ぶようになるための環境構成と援助の工夫 ～思いを伝え合い友達とかかわる遊びを通して～
昼 食			
5	13:00 ～ 13:35	波照間生子 大里中学校	〈中学校 理科〉 科学的な思考力・表現力を高める指導方法の工夫 ～教材・教具を活かした問題解決学習を通して～
6	13:40 ～ 14:15	伊波ますみ 豊見城中学校	〈適応指導教室〉 学校復帰へ向けたよりよい支援の在り方 ～子ども理解と多様な活動を通して～

- 4 指導助言 (14:15)
 幼児教育担当指導主事 大城美恵子
 指導主事 佐久本広志
 主任指導主事 羽根田幸江



- 5 所長のお話(14:30)
 島尻教育研究所 所長 上原 雅志



写真1 所内検討会の様子



写真1 発表の様子

○プレゼン作成に試行錯誤し取り組んでいましたが、実際に発表してみて、魅せることの難しさを改めて実感しました。同じ研究員でもそれぞれ個性が出て見る側も飽きずに見ることができるのではないかなと思います。私は小学校の先生方の後なので、もっとスッキリ伝える方法を工夫しないと諍くなるのだろうなと思いました。大変かもしれませんが丁寧に修正を重ねていくことで、見る側が気持ちよく受け取ってくれることに繋がると信じています。細かいことを丁寧にを行うことが相手への思いやりになると感じました。

他の研究員と練習を重ね、示唆や助言を頂きながら作り上げていきたいです。 (国吉亜矢)

○苦手とするプレゼンだったので、どうなることかと心配していましたが、みなさんから、色々いいアドバイスがもらえてとてもためになりました。また、研究員の中でとても分かりやすいプレゼンをしたのは、由紀先生でした。「魅せる」も「分かりやすく伝える」こともしっかりできていて、感心させられました。私も、見習いたいと思います。今日、アドバイスを受けたことは、最初の成果のシートには手立ては載せないこと、「道徳科における・・・」の部分では、「道徳科」は消すこと、手立てを紹介するシートをもう一枚作成し、画面構成を検討すること、グラフが見つらいので、色を変えて効果的に見せるようにすることなどたくさんアドバイスを頂きました。また、羽根田先生から、「このプレゼンは一生の宝物になるので、丁寧に仕上げて下さい」という言葉がありました。その言葉が心にジーンと響きました。一生の宝物となるよう心を込めて丁寧に手直しして、完成度の高いプレゼンにしようと思います。さらに、上原所長から、「これまでやってきた内容はいいので、自信を持ってやって下さい。」という励ましのお言葉を頂き、とても嬉しく思いました。明日には、何とか完成させて、しっかりイメージを頭で描けるようにしたいです。 (比嘉頼子)

○みんなのプレゼンテーションはアニメーションもしっかり入っていて、図や表も見やすくなってよかったです。原稿も何度も読んで練習したのだろうと思いました。時間もだいたい15分くらいにまとまっていました。

みんなの発表を見て明日から、とりあえずプレゼンテーションのおおまかな内容を作り上げていきたいと思います。リハーサルがもうすぐやってくるのでそれまでには仕上げたいと思います。(久高友弥)

○全員のプレゼンテーションを見て、その後、気になるところなどみんなで話し合いました。共通して言えることは、成果の中に手だてがあるということで、それを省いて成果のみ表示することでした。前期までの研究員のプレゼンをお手本に作成していましたが、それは良くないということでした。他には、文字に陰があることや手だての中には、セールスポイントのみ記載すること、意味のない矢印をぬかすことなど細やかな部分まで見ていただきました。最後の所長と指導主事の助言では、「効果的なプレゼンを」「自分に厳しく細かにチェックを!」「文字の精選をし、キーワードで表現する」「色合いのマッチング」「画面切り替えのタイミング」「流れをつかんで、シートで何を伝えたいのか考えて言葉を精選する」「報告書の内容とプレゼンの内容の整合性チェック」など指導を戴きました。今回の所内検討会で学習したことを修正して、リハーサルに向けて頑張りしたいと思います。(畠名腰由紀)

○所内検討会では、みんな分かりやすく内容を伝える工夫がされたプレゼンで、原稿もしっかりまとめられたものすごく参考になりました。

私は、実践上の課題と仮説を説明するスライドが伝わりづらいという指摘を受けたのでこのシートを手直ししました。実践上の課題では、教師側の考えしか伝えなかったので生徒側の思いも伝えることにしました。仮説の場面では、単元における工夫で生徒がどう変容するのかを説明します。(波照間生子)